2027年3月期 中間期
決算説明会

2026年11月5日

山一電機株式会社

東証プライム　6941

ご説明内容

01 決算のポイント

02 2026年度 中間期業績結果

03 2026年度 業績予想

04 配当について

本説明資料内に記載の各事業名の略称について

事業名	事業名略称
テストソリューション事業	: TS事業
コネクタソリューション事業	: CS事業
光関連事業	: OPT事業

2027年３月期中間期決算

1. 中間期として、売上高・営業利益・経常利益・純利益のすべてで過去最高を更新

売上高は前年同期比40.3%増、営業利益は同61.5%増となり、利益成長が売上高の伸びを上回った

2. テストソリューション事業の計画上振れを受け、通期業績予想を上方修正

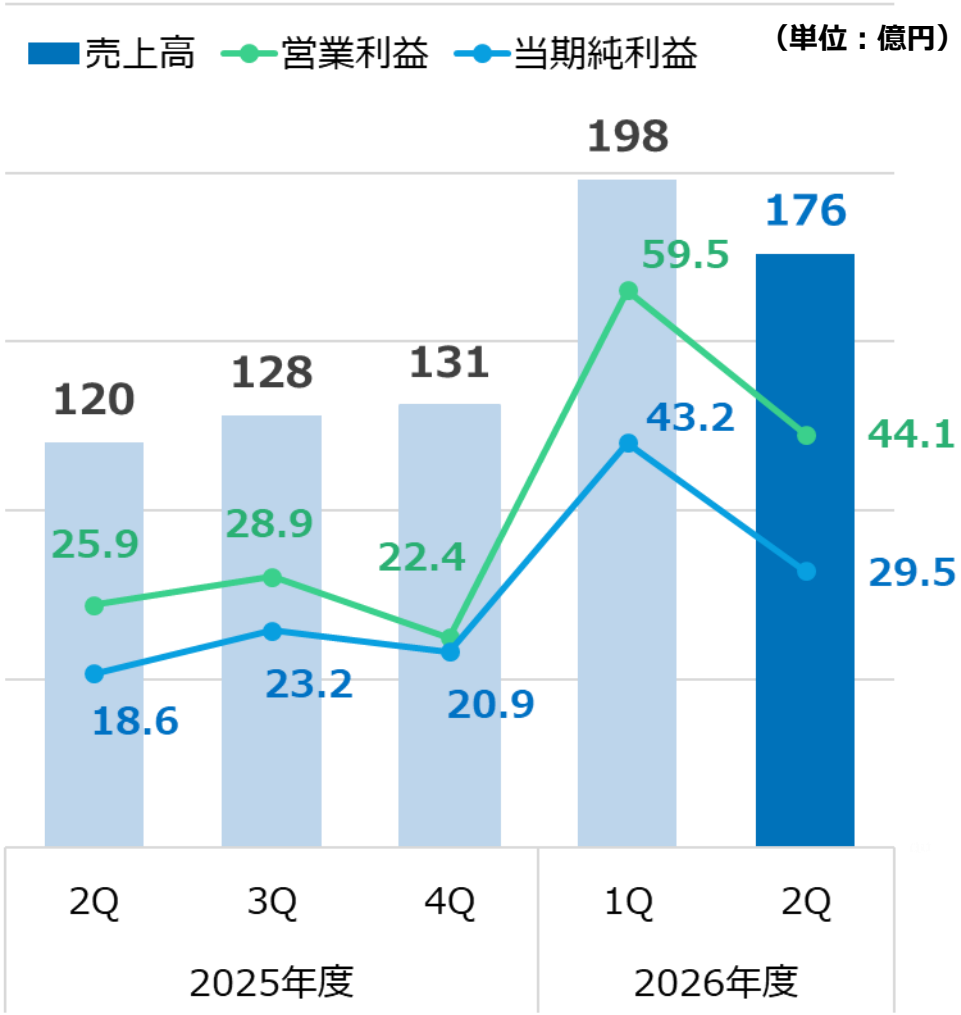
スマートフォン・ウェアラブル機器向けテストソケット、メモリー半導体向けバーンインソケットの販売が想定を上回って推移

3. 好調な中間期実績と今後の需要見通しを踏まえ、業績予想・配当予想を上方修正

売上高675億円、営業利益162億円へ修正。年間配当予想は創立70周年記念配当20円を含む203円へ

業績結果

中間期として、売上高・営業利益・経常利益・純利益のすべてで過去最高を更新



（単位：億円）

	2025年度 中間期実績	2026年度 中間期実績	前年同期比	前年同期比 増減率
売上高	267	**375**	107	40.3%
営業利益	64.1	**103.6**	39.4	61.5%
経常利益	64.9	**101.2**	36.3	56.0%
当期純利益	46.5	**72.7**	26.2	56.5%
EPS（円）	252.22	**394.30**	142.08	―
BPS（円）	2,255.98	**2,802.03**	546.05	―

為替レート	2025年度 中間期	2026年度 中間期	増減
USD（円）	146.03	159.37	13.34
EUR（円）	168.06	184.35	16.29

事業別業績結果

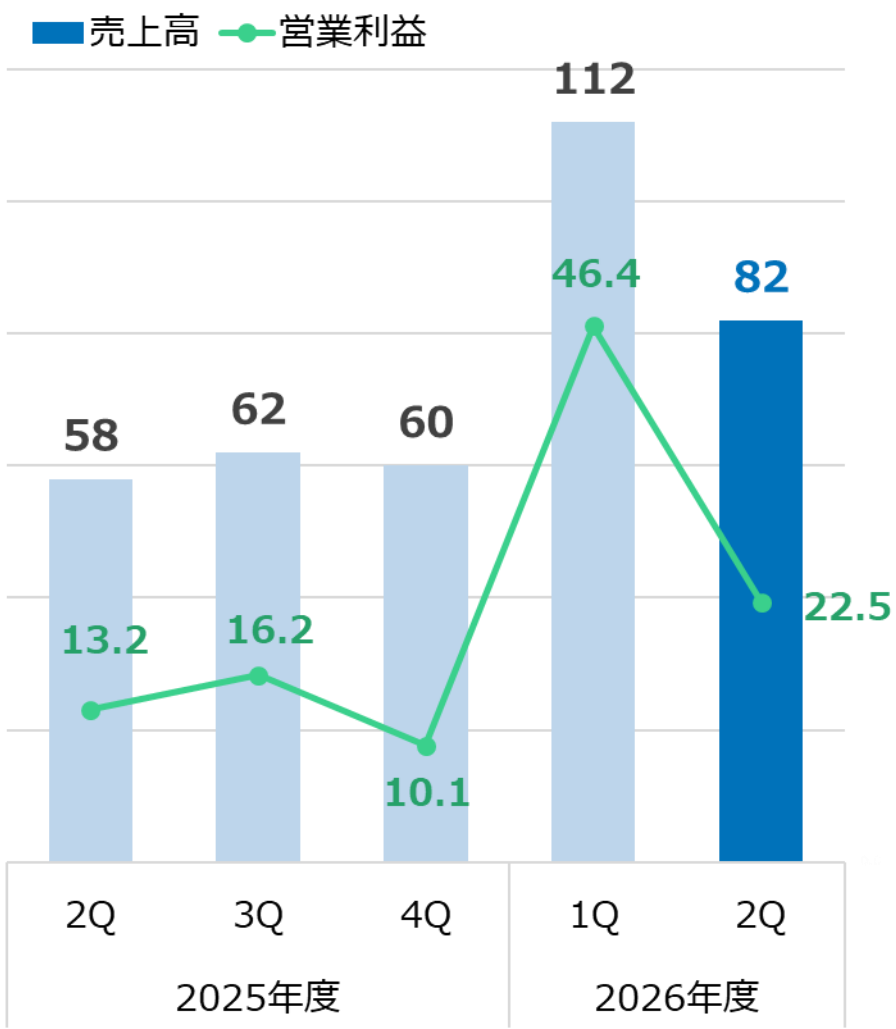
（単位：億円）

		2025年度 中間期実績	2026年度 中間期実績	前年同期比	前年同期比増減率
TS事業	売上高	141	**195**	53	37.7%
	営業利益	43.6	**69.0**	25.3	57.9%
CS事業	売上高	117	**172**	55	46.9%
	営業利益	18.6	**34.7**	16.0	85.8%
OPT事業	売上高	8	**7**	▲ 0	-11.2%
	営業利益	1.1	**0.9**	▲ 0.2	-20.2%
その他	営業利益（連結調整額）	0.6	**▲ 1.0**	▲ 1.6	―
合計	売上高	267	**375**	107	40.3%
	営業利益	64.1	**103.6**	39.4	61.5%

山一電機株式会社

TS事業 業績結果

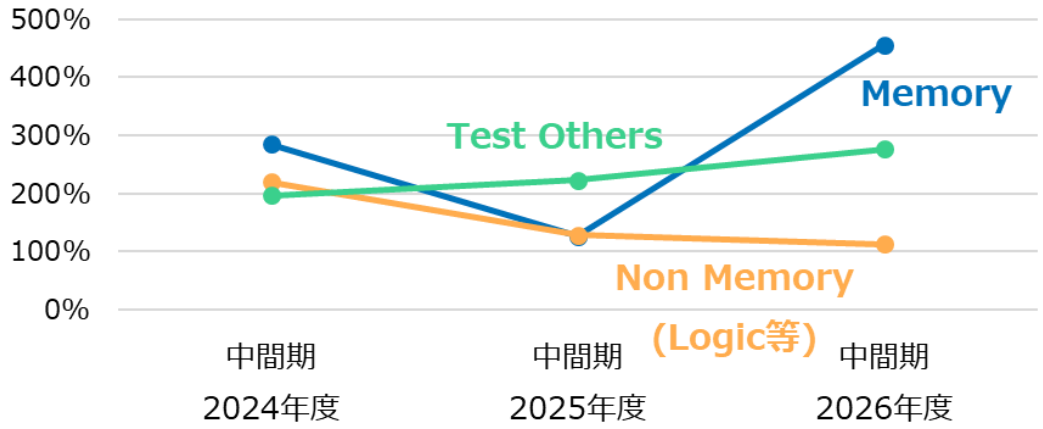
（単位：億円）



		2025年度 中間期実績	2026年度 中間期実績	前年同期比	前年同期比増減率
TS事業	売上高	141	**195**	53	37.7%
	営業利益	43.6	**69.0**	25.3	57.9%

- テストソケット分野では、スマートフォン向けの出荷が計画を上回った他、ウェアラブル機器及び自動車向けの出荷も順調に推移しました。
- バーンインソケット分野では、メモリー半導体顧客の生産能力増強に向けた投資を背景に出荷が好調に推移しました。
- ロジック半導体向けバーンインソケットは、自動車向けを中心に顧客の投資先送りの影響を受けました。

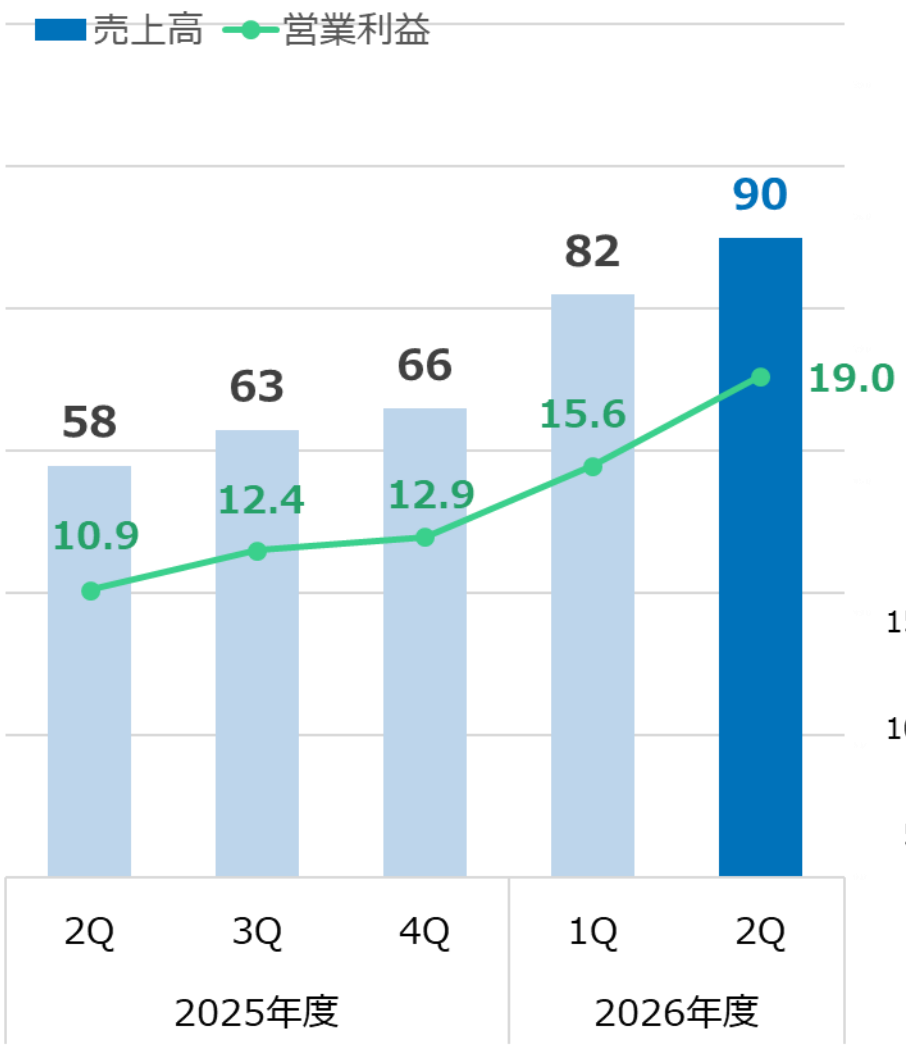
【2023年度 中間期売上を100%としての推移】



山一電機株式会社

CS事業 業績結果

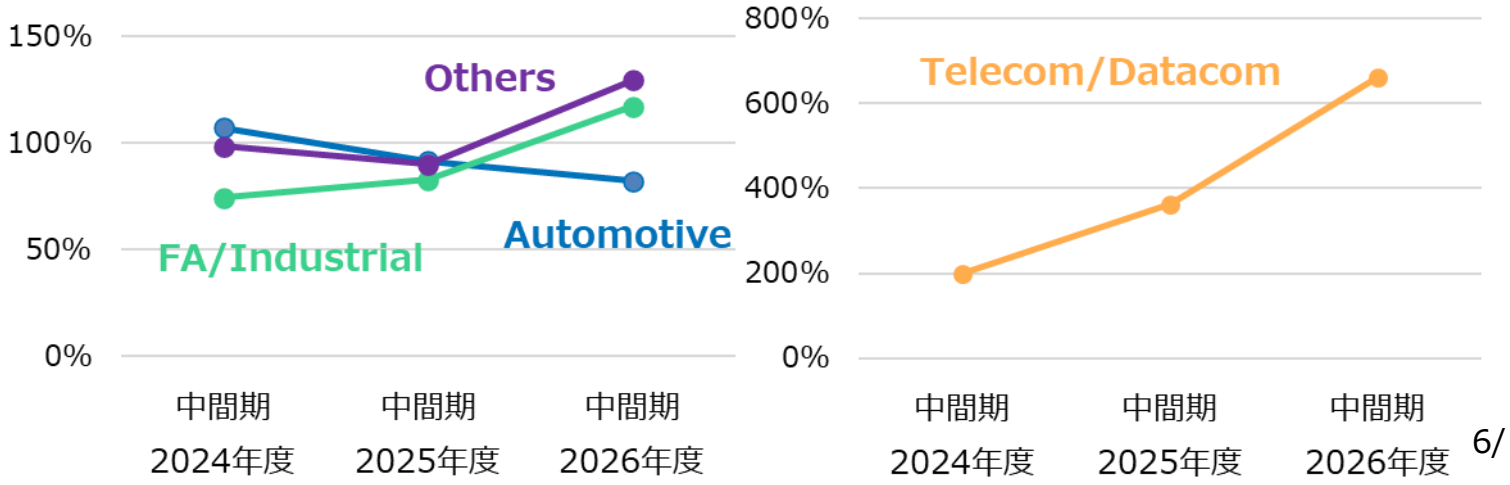
（単位：億円）



		2025年度 中間期実績	2026年度 中間期実績	前年同期比	前年同期比増減率
CS事業	売上高	117	**172**	55	46.9%
	営業利益	18.6	**34.7**	16.0	85.8%

- 通信機器向けでは、ＡＩ関連を含むデータセンター向け及び、基幹系通信機器向けの出荷が順調に推移しました。
- 産業機器向けでは、主要市場である欧州顧客の出荷回復に加え、半導体検査装置向けの出荷も順調に推移しました。
- 車載機器向けは、主要顧客での需要減少の影響を受けました。

【2023年度 中間期売上を100%としての推移】



為替影響

通貨	2025年度 中間期	2026年度 中間期	増減
USDレート（円）	146.03	159.37	+13.34
EURレート（円）	168.06	184.35	+16.29

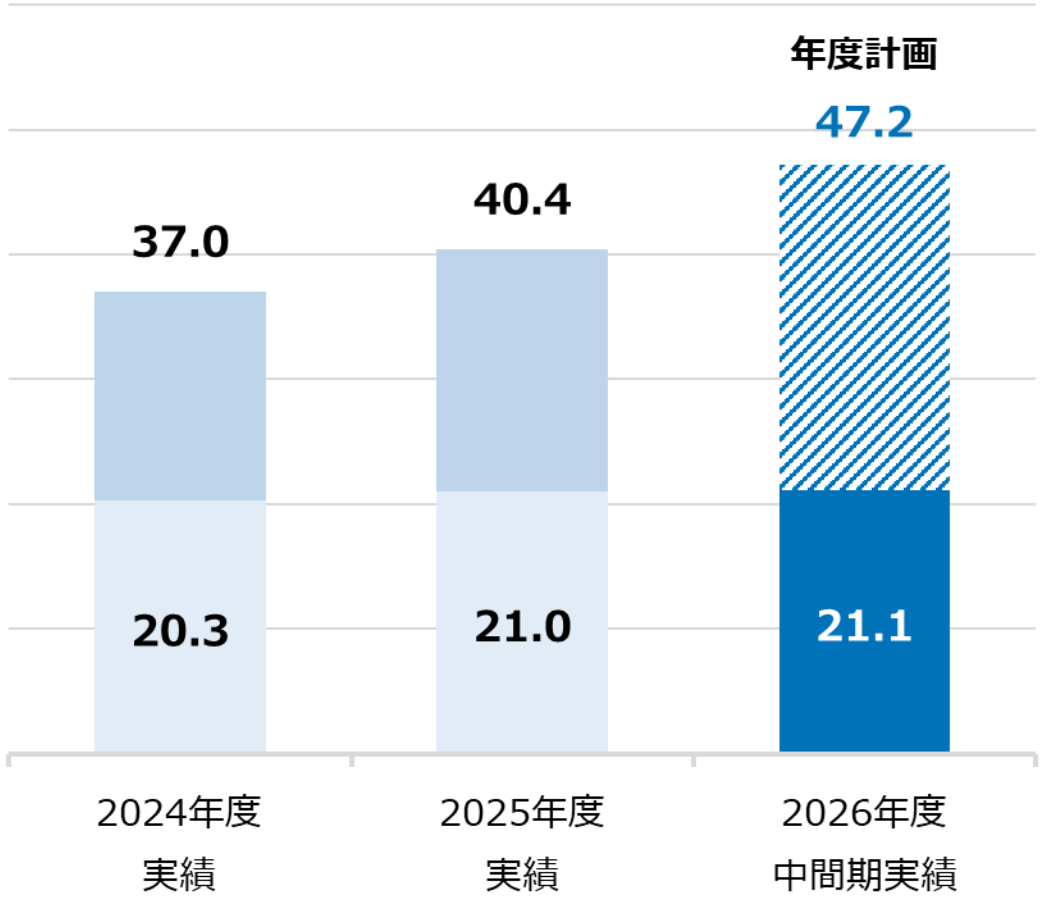
対前年同期為替影響額	
売上高	29.5億円
営業利益	16.2億円

通期の為替感応度 （1円影響額/年間）	売上高影響額	営業利益影響額
USD	3.3億円	2.0億円
EUR	0.6億円	0.1億円

設備投資・減価償却費

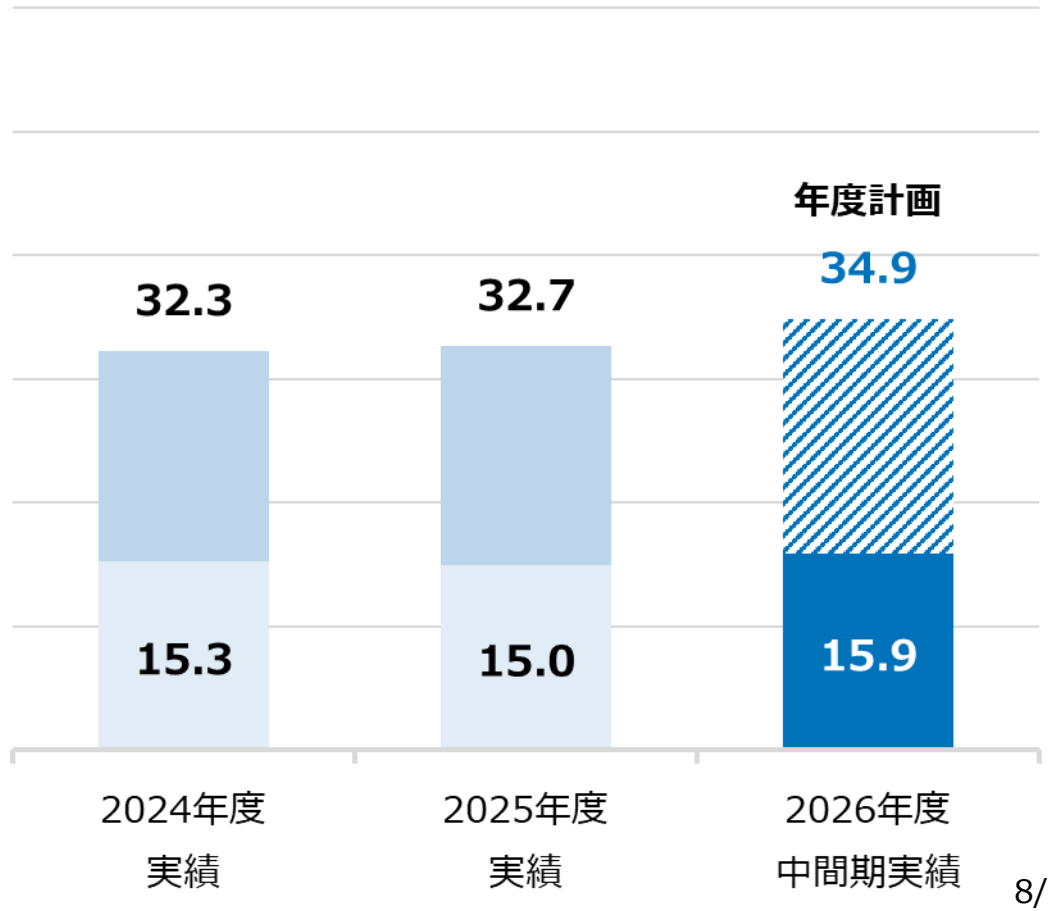
【設備投資額】

（単位：億円）



【減価償却費】

（単位：億円）



中間期トピックス 【第４工場の建設の件】

当社は、2026年9月18日開催の取締役会において、当社の連結子会社である Pricon Microelectronics, Inc. に第4工場を建設することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。



◆ 第４工場建設の目的

当社グループでは、半導体市場をはじめ、車載、通信（AI サーバ）、産業機器などの市場における中長期的な需要拡大を見据え、グローバルな生産能力の増強と安定供給体制の強化を進めてまいります。

Pricon Microelectronics , Inc.においても、今後の事業拡大に対応するため、生産スペースの確保が必要となっていることから、新たに第 4 工場を建設することといたしました。

◆ 第４工場の概要

項目	内容
所在地	Light Industry & Science Park IV（LISP IV）, Malvar, Batangas, Philippines
建物	3階建て
延床面積	約30,000㎡
主な用途	半導体テストソケット、コネクタ等の製品組立
投資総額	約65億円
建設工事開始	2027年2月（予定）
建物完成・引き渡し	2028年9月末（予定）
稼働開始	2028年度下期（予定）

第4工場は1フロア約10,000㎡の3階建てを計画しています。2階および3階には組立エリアやオフィス等を配置し、屋上には太陽光発電設備を設置する計画です。

中間期トピックス 【統合報告書発行の件】

当社は、このたび、当社グループ初となる「統合報告書2026」を発行し、当社ウェブサイトで公開いたしましたので、お知らせいたします。

本報告書は、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまに、当社グループの中長期的な価値創造と企業価値の向上に向けた取り組みをご理解いただくことを目的として発行したものです。

主な掲載内容

- トップメッセージ
- 価値創造プロセス
- 第5次中期経営計画と財務戦略
- 各事業の成長戦略と研究開発・知的財産
- 環境への取り組み
- 人財戦略
- 社外取締役対談

公開日：2026年11月５日

公開ページ

当社Webサイト

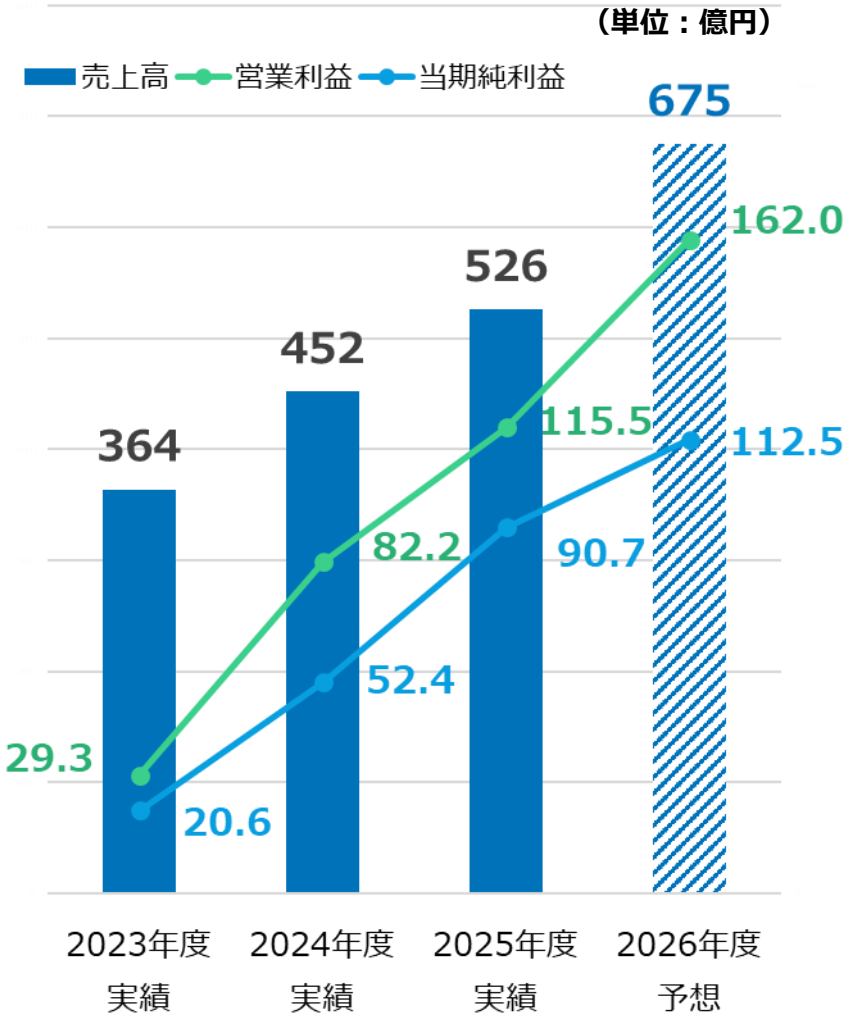


中間期トピックス 【連結子会社株式の一部譲渡の件】

当社は、2026年９月18日開催の取締役会において、当社の連結子会社である光伸光学工業株式会社の株式の一部を、株式会社ヴイ・エス・テクノロジーに譲渡することを決議し、2026年９月18日付で株式譲渡契約を締結し、2026年９月25日に株式譲渡を実行いたしました。

なお、本株式譲渡後も、光伸光学工業は引き続き当社の連結子会社に該当するため、連結の範囲に変更はありません。

連結 業績予想



通期連結業績予想に修正があります

（単位：億円）

	2025年度 通期実績	2026年度 通期予想			
		8月5日 公表予想	今回予想	前年同期比	前年同期 増減率
売上高	526	658	**675**	148	28.1%
営業利益	115.5	150.0	**162.0**	46.4	40.2%
経常利益	121.2	149.0	**158.5**	37.2	30.7%
当期純利益	90.7	103.0	**112.5**	21.7	24.0%
EPS（円）	492.25	557.89	**609.35**	117.10	---

【2026年度 連結業績予想の前提となる為替レート】

為替レート	2025年度 通期	2026年度 通期
USD（円）	150.75	155.00
EUR（円）	174.76	180.00

（第３四半期以降の為替レート　１米ドル 150.00円　　１ユーロ 175.00円）

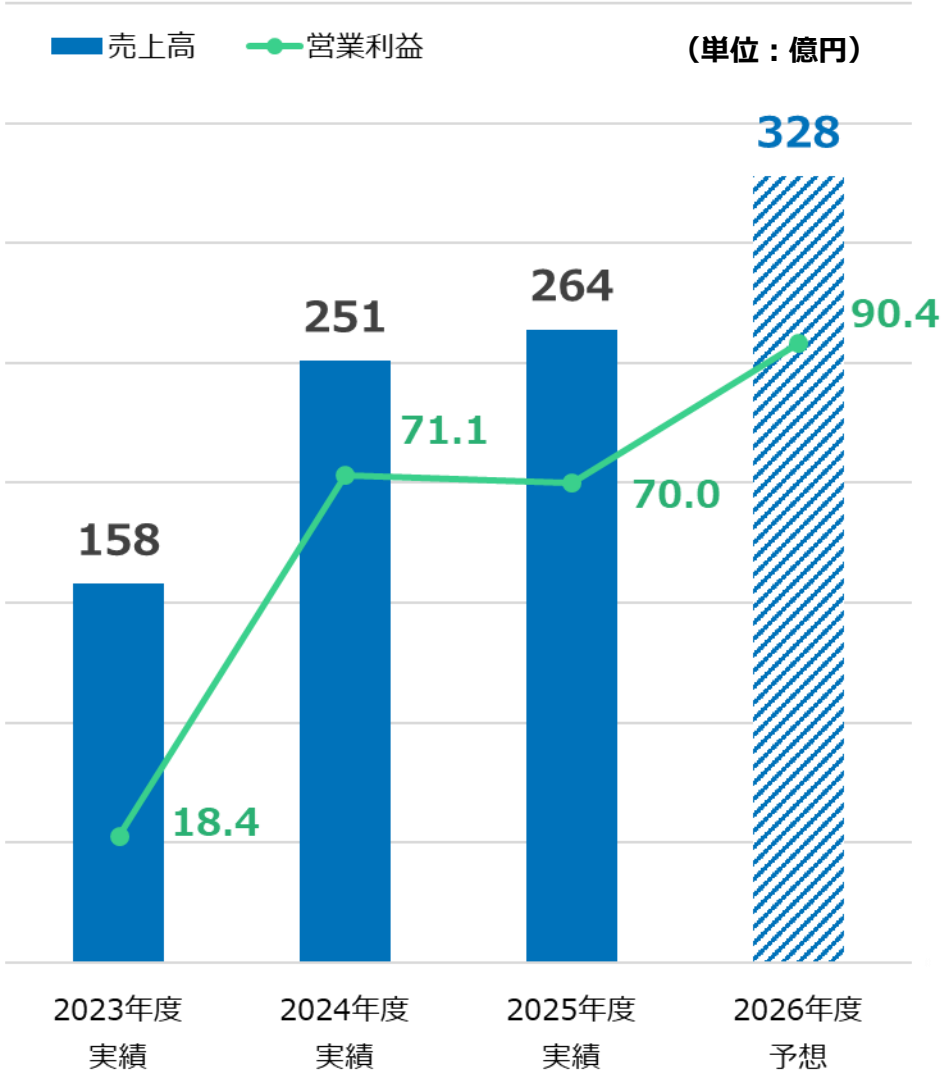
事業別 業績予想

TS事業の通期売上高・営業利益に修正があります

（単位：億円）

		2025年度 通期実績	2026年度 通期予想			
			8月5日 公表予想	今回予想	前年同期比	前年同期 増減率
TS事業	売上高	264	311	**328**	63	24.1%
	営業利益	70.0	78.4	**90.4**	20.3	29.0%
CS事業	売上高	247	332	332	84	34.2%
	営業利益	44.0	70.0	70.0	25.9	58.9%
OPT事業	売上高	15	15	15	▲ 0	-2.0%
	営業利益	2.0	1.6	1.6	▲ 0.4	-22.4%
その他	営業利益（連結調整額）	▲ 0.6	0.0	0.0	0.6	---
合計	**売上高**	**526**	**658**	**675**	**148**	**28.1%**
	営業利益	**115.5**	**150.0**	**162.0**	**46.4**	**40.2%**

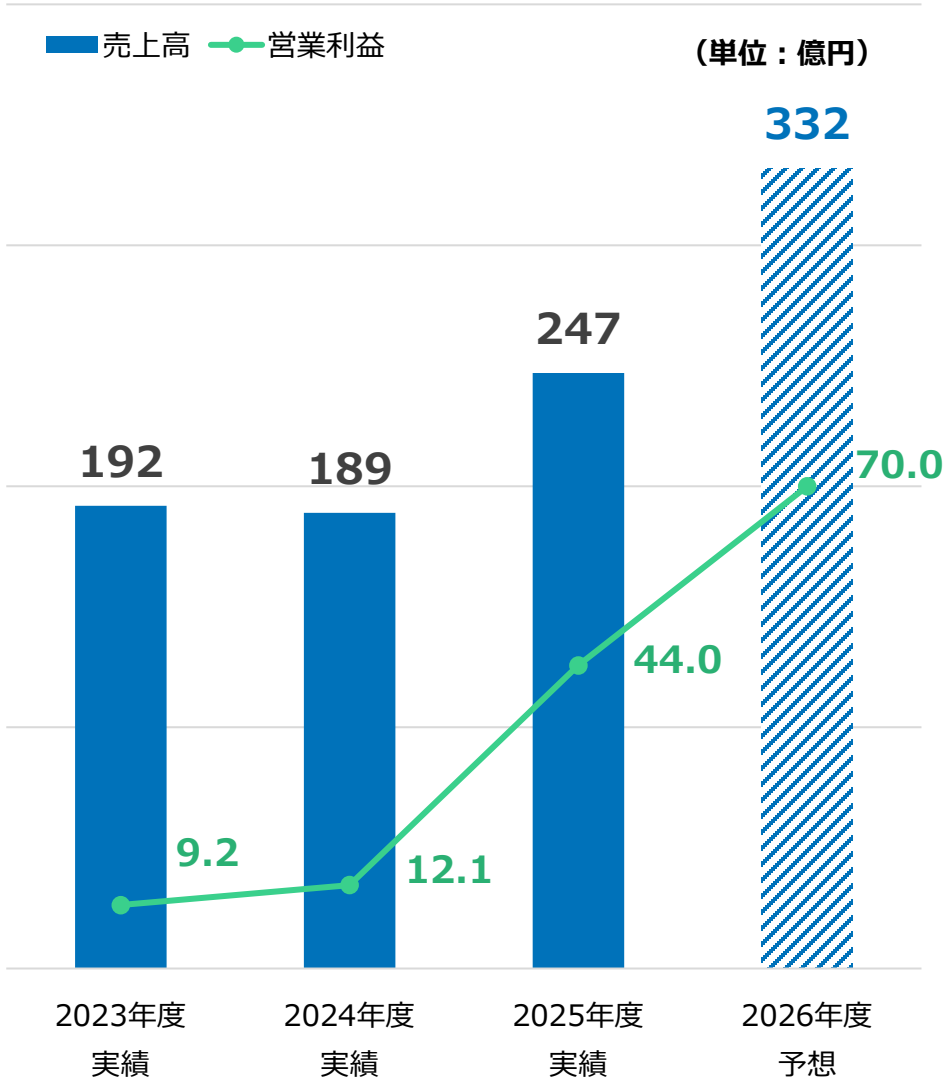
事業別 業績予想【TS事業】



		2025年度 通期実績	2026年度 通期予想			
			8月5日 公表予想	今回予想	前年同期比	前年同期 増減率
TS事業	売上高	264	311	**328**	63	24.1%
	営業利益	70.0	78.4	**90.4**	20.3	29.0%

- テスト用ソケット分野では、PC、ウェアラブル機器、自動車向けの出荷が中心となることに加え、次年度のスマートフォン向け新製品の開発時期になることを見込んでおります。
- メモリー半導体用バーンインソケットでは、顧客での生産能力増強に向けた投資の継続が想定されることから、順調な推移を見込んでおります。
- ロジック半導体用バーンインソケット市場は設備投資の先送り影響を受けるものの、AIサーバー向けASIC案件への対応や次世代ADAS・ADS向け製品の商談獲得に注力しております。

事業別 業績予想【CS事業】



		2025年度 通期実績	2026年度 通期予想			
			8月5日 公表予想	今回予想	前年同期比	前年同期 増減率
CS事業	売上高	247	332	332	84	34.2%
	営業利益	44.0	70.0	70.0	25.9	58.9%

- 通信機器向けでは、ＡＩを含むデータセンターへの投資が加速していることに加え、次世代製品の出荷増が期待されることから、総じて高い需要を見込んでおります。
- 産業機器向けでは、主要市場である欧州顧客及び半導体検査装置向けにおいて、順調な推移を見込んでおります。
- 車載機器向けでは、主要顧客での需要減少の影響が続くと見込んでおります。

剰余金の配当（中間配当）について

	決定内容	直近の配当予想 (2026年８月５日)	前期実績 （2026年３月期中間配当）
基準日	2026年９月30日	同左	2025年９月30日
１株当たり配当金	65円	同左	35円
配当金総額	1,200百万円	----	643百万円
効力発生日	2026年11月30日	----	2025年11月28日
配当原資	利益剰余金	----	利益剰余金

当社グループは、株主の皆様に対する安定的な配当の維持と適正な利益還元を行うとともに、財務体質と経営基盤の強化を図ることを利益配分の基本方針としております。また、当社グループは、2026年５月13日に公表いたしました中期経営計画で配当性向30%を目指すことを公表しております。

中間配当につきましては、直近の配当予想どおり、１株当たり65円とすることを決定いたしました。

期末配当予想の修正および記念配当について

2027年３月期中間期及び通期連結業績予想の修正に伴い、期末配当予想の修正を行いました。

また、山一電機グループは、2026年11月１日に創立70周年を迎えました。これもひとえに株主の皆さまをはじめとするステークホルダーの皆さまの長年にわたるご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

つきましては、株主の皆さまへの感謝の意を表するため、2027年３月期の期末配当において、普通配当118円に加えて20円の記念配当を実施することといたしました。これにより、2027年３月期の期末配当は138円となり、中間配当の65円と合わせて、通期合計で203円の配当を実施する予定です。

ただし、記念配当を含む期末配当金につきましては、2027年６月に開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

（ご参考）年間配当の内訳

	１株当たり配当金		
	中間期	期末	合計
前回予想（2026年８月５日公表）	65円	103円	168円
今回修正予想（2027年３月期）		138円 （普通配当：118円） （記念配当：　20円）	203円 （普通配当：183円） （記念配当：　20円）
当期実績（2027年３月期）	65円		
前期実績（2026年３月期）	35円	113円	148円

山一電機株式会社

https://www.yamaichi.co.jp

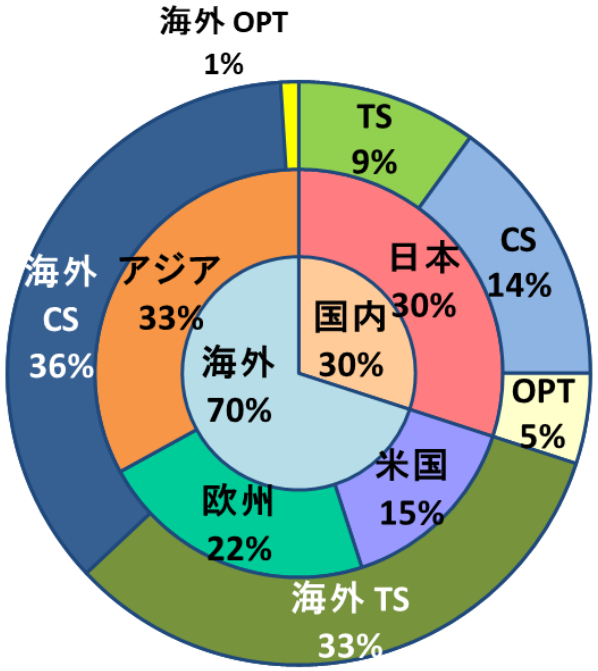
※注意事項

本資料は、2026年11月５日現在の当社グループの事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資勧誘を目的としたものではありません。

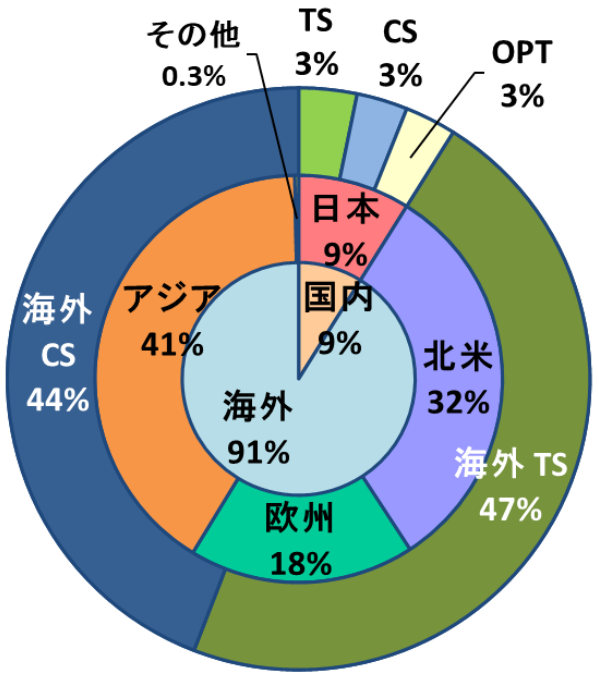
本資料に記載した意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更する場合があります。

山一電機株式会社

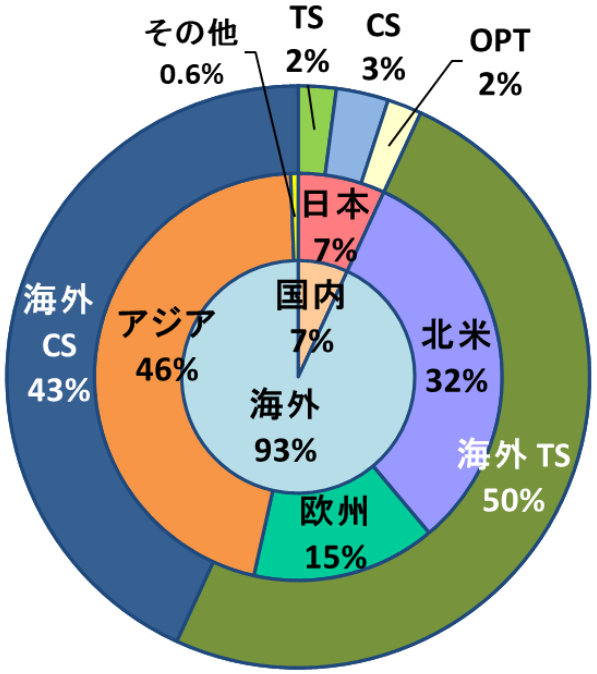
FY2013通期



FY2025通期



FY2026 2Q



2026年度 2Q実績（全社）： ９３％

	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2025	FY2026 1H	FY2013比
ＴＳ事業	79%	82%	82%	80%	83%	86%	87%	89%	90%	90%	89%	95%	94%	97%	96%	+17ポイント
ＣＳ事業	69%	72%	77%	81%	84%	86%	88%	86%	89%	91%	92%	92%	94%	94%	94%	+25ポイント
OPT事業	7%	8%	7%	3%	2%	2%	1%	1%	3%	3%	2%	2%	2%	1%	2%	−5ポイント
全体	70%	73%	76%	77%	79%	83%	84%	82%	86%	87%	87%	91%	91%	94%	93%	+23ポイント